事前評価チェックシート

計画の名称：　南部町の下水道における防災・安全対策の実現

事　　前　　評　　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性　・下水道事業計画による事業認可計画面積１８１．６haのうち令和３年度末で約７割にあたる１２９．１．５haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり、上位計画との整合性はとれている。	○
I.　目標の妥当性	
②地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）　・下水道事業は生活に密接に結び付いた事業であり、安全で地域住民の快適な生活環境を確保するためにも安定した運営が必須となっている。安全なライフラインとして機能させるためにも継続的に点検調査を行うことにより一層の安全確保ができる。	○
II.　計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性　・今回、計画を新規に策定し、計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II.　計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性　・定量的指標は、当町の下水道整備済み延長に対する管渠点検調査距離であり事業進捗状況を示すに適した指標である。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性　・事業内容は防災・安全に係わる事業としており、計画の目標と整合している。また、安全なライフラインとしての下水道施設の管理運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II.　計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性　・管渠点検調査を継続的に行うことにより腐食箇所等の早期発見が可能となり、もし腐食箇所等が発見された場合は被害が拡大する前に対策を講じることができ、安全を確保することができる。	○
III.　計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）　・調査前に対象地区住民に対し調査についての説明チラシを配布し、理解・協力を得ながら事業を遂行する。	○
III.　計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）　・地域住民からは安全なライフラインの維持・運営を望む声も多い。管渠点検調査を継続的に行うことで未然に被害を防ぐことができ防災・安全対策に寄与することができる。	○

案件番号：0000698053